

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。お取付けの際は本書を良くお読み頂きご理解の上、正しくお取付けください。※誤ったご使用による事故などの責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品を取付けることで、モーションセンサー(振動センサー)が、盗難や悪戯を感知し、大音量の警告・警報音を発生させます。別売の傾斜センサー(¥1500[税込])を取付けることでさらに盗難防止効果が期待できます。すべての設定はイグニッションキーで行う簡単操作！

ご使用上の注意

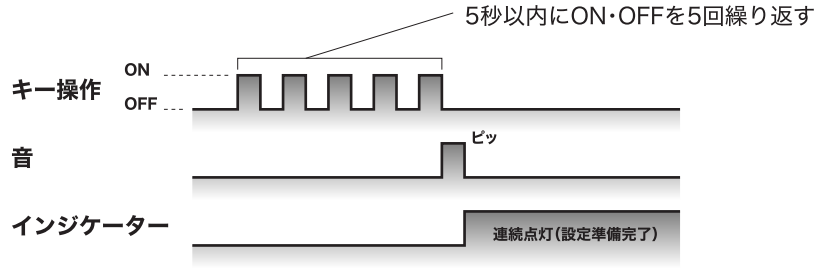
- 取扱説明書や保証書を必ずお読みになってからお取付けください。
- 本製品の取付けには専門知識、経験が必要となります。取付け、配線に自信のない方は安全のため専門家にお任せすることをおすすめいたします。
- 本製品は12Vのバイク用です。バッテリーレス車にはお取付けできません。
- 車種によってはお取付けできない場合があります。
- 本製品は盗難を完全に防止するものではなく、盗難防止補助装置です。当社では盗難や悪戯等が発生した場合の保証はいたしません。
- 本製品は防水ではありません。水のかからない場所に取付けてください。
- 本体・サイレン・配線は外部から見えない場所に取付けてください。
- キーレスエントリー装着車および一部のイモビライザー装着車はお取付けできません。
- 本製品を改造された場合の事故や怪我に対して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

構成部品

- 本体 ×1
- サイレン ×1
- LEDインジケータランプ(ナット・ワッシャ付属) ×1
- エレクトロタップ ×2
- アース線 ×1

設定方法

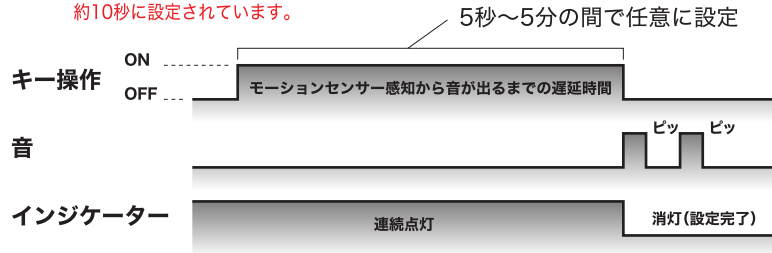
STEP1 設定準備



STEP2 遅延時間の設定 ※振動を感知し始めてから警報が鳴るまでの時間を設定します。

※工場出荷時は

約10秒に設定されています。



※STEP1の動作をしたあとSTEP2の設定をせずに1分を経過すると遅延時間は5秒にセットされます。

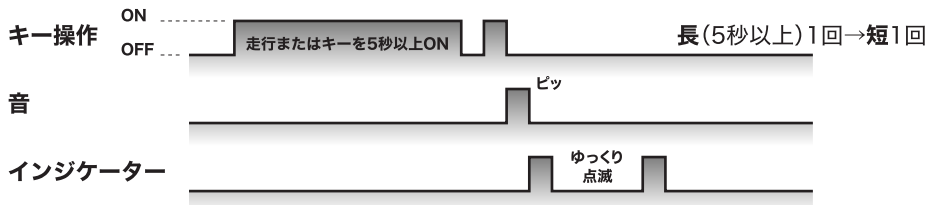
遅延時間の設定は何回でも変更可能です。
変更する場合は、警報待機の解除状態でSTEP1→STEP2の操作を行います。

【例】遅延時間を7秒にした場合は、モーション(振動)センサーが7秒以上感知し続けた場合のみ警告音が鳴り始めます。モーション(振動)センサーの連続感知時間が7秒未満の場合は警告音は鳴り始めません。
線路際や高架下など、振動の起こりやすい場所では、遅延時間を長めに設定することで誤報を減らすことができます。
※5秒～5分の間で使用状況に合わせて設定してください。

STEP3 警報待機設定

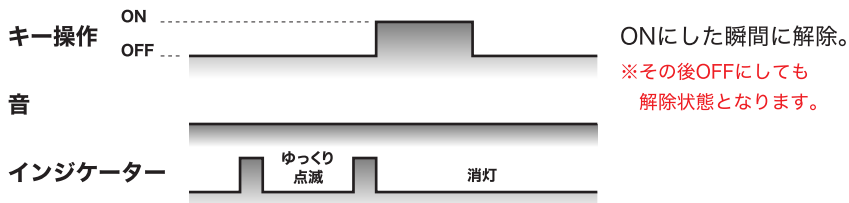
モーションセンサー	傾斜センサー(別売)
待機	待機

モーションセンサーと傾斜センサーの両方を警報待機状態にします。



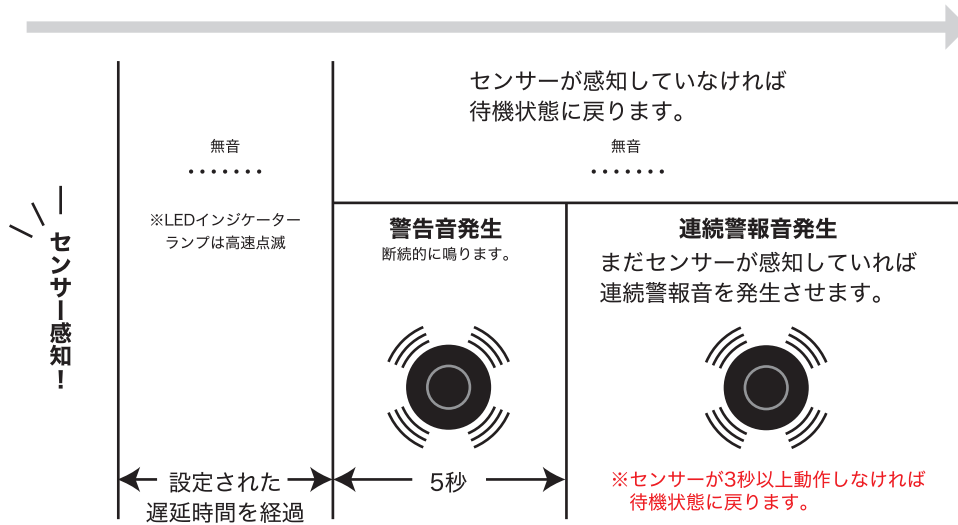
※キー操作による振動によりモーションセンサーが感知し、インジケーターが高速点滅する場合がありますが異常ではありません。

●警報待機の解除(警報の停止)



警報の発生

モーションセンサー(振動センサー)が設定された遅延時間以上感知し続けると、まず警告音が断続的に5秒間鳴ります。さらに継続してモーションセンサーが感知し続けた場合は連続警報音を発生させます。



●警報の停止

警告音発生中または連続警報音発生中にキーをONにするとサイレン音が停止し同時に警報待機状態も解除されます。

※解除されると、キーをOFFにしても、解除状態となります。

仕様

【本体】

定格電圧:DC12V
使用電圧範囲:DC7V~17V
消費電流:約0.5mA(待機時)
外径寸法:W36×H70×D19mm

【インジケータランプ】

型式:LED(発光ダイオード)
発光色:赤色

【サイレン】

型式:圧電式
定格電圧:DC12V
出力音圧レベル:122±5dB/12V/10cm
周波数:2~4KHz
外径寸法:W39.5×H48×D23.5mm

本製品を取付け、表面の「警報待機設定」に沿って設定を行うと、
モーションセンサー(振動センサー)と傾斜センサーの両方が動き、より防犯効果アップが期待できます。

ご使用上の注意

- 本製品は「盗難警報機 CS-330」専用のバイク用傾斜センサーです。
- 本製品の改造をされた場合の事故や怪我に対して一切の責任を負いかねますので
あらかじめご了承ください。
- 本製品は防水ではありません。
- 本製品(CS-OP-01)はメーカー保証はありません。
※初期不良(お買上げ日より1週間以内)以外の新品交換はご容赦ください。

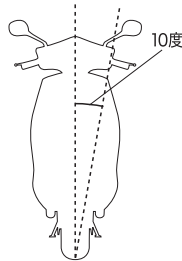
構成部品

- 傾斜センサー 本体 [1ヶ]
- 両面テープ [3ヶ]
- チェック用クリップコード [1本]
- アルミプレート [1ヶ]
- 結束バンド [2本]

傾斜センサーのしくみ

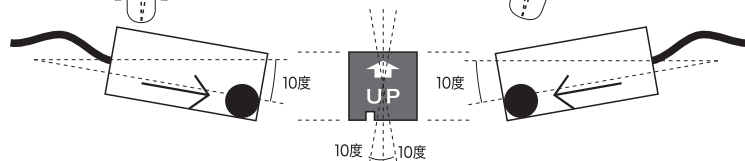
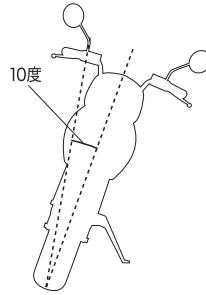
センタースタンド設定

センタースタンドを外し、
わずかにバイクが傾いた時、
警報が鳴ります。



サイドスタンド設定

サイドスタンドを外し、
わずかにバイクが起きた時、
警報が鳴ります。



傾斜センサーの中に入っているボールが転がってON/OFFする構造になっています。
※上下・左右それぞれ10度の範囲で感知します。

設定はセンタースタンド設定かサイドスタンド設定のどちらか一つしか設定できません。

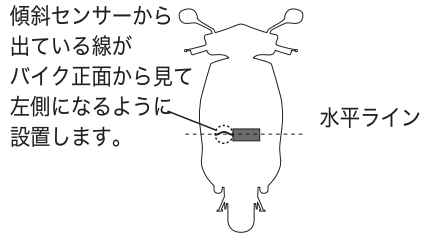
取付け方法

●設置場所

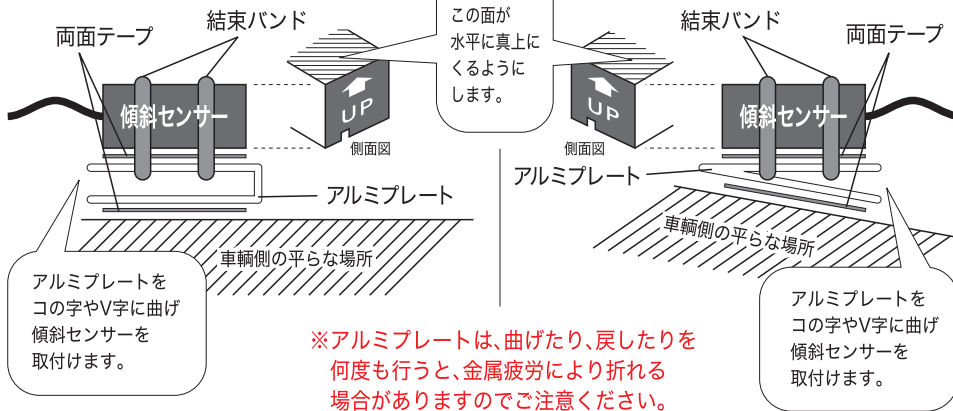
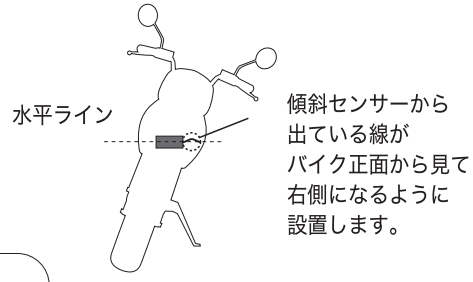
付属のアルミプレートを使用し、カウル内やシート下など外から見えない平らな場所に下の図のように設置します。

※いずれか片方のみ設定可。

センタースタンド設定



サイドスタンド設定

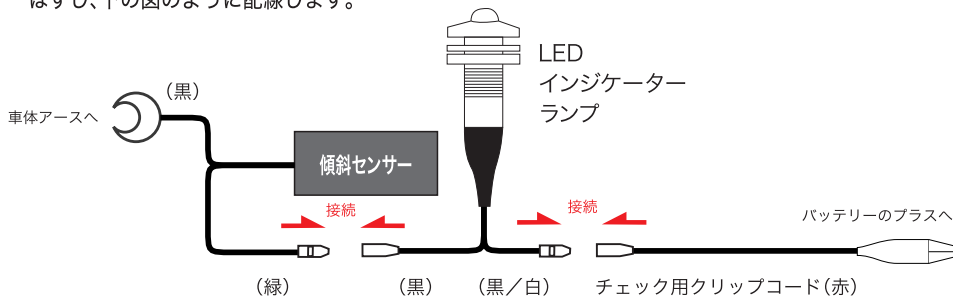


●設定

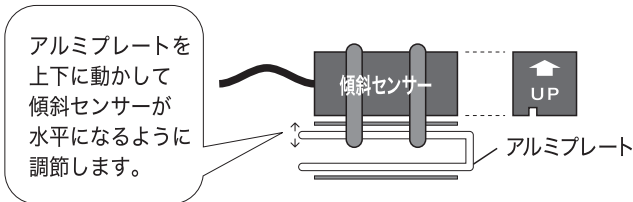
「盗難警報機 CS-330」に付属のLEDインジケータランプと本製品付属のチェック用クリップコードを使用し傾斜センサーの角度調整を行います。

※LEDインジケータランプとチェック用クリップコードを使用することにより設定時にサイレン音を鳴らさず作業が行えます。

①CS-330本体とLEDインジケータランプを接続しているギボン2本をはずし、下の図のように配線します。



- ②傾斜センサーが水平になるようにアルミプレートを上下に動かし、微調整します。
 ※水平になるとLEDインジケータランプが点灯します。



センタースタンドの場合

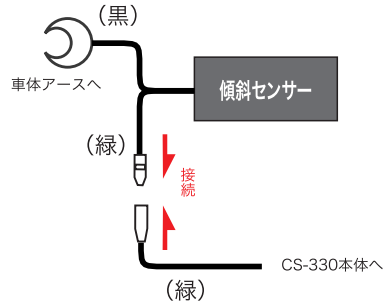
センタースタンド使用時は点灯し、車体がわずかに傾いた状態で消灯するように調整します。

サイドスタンドの場合

サイドスタンド使用時は点灯し、車体がわずかに起きた状態で消灯するように調整します。

- ③傾斜センサーの角度調整が完了したら、以下の手順で配線します。

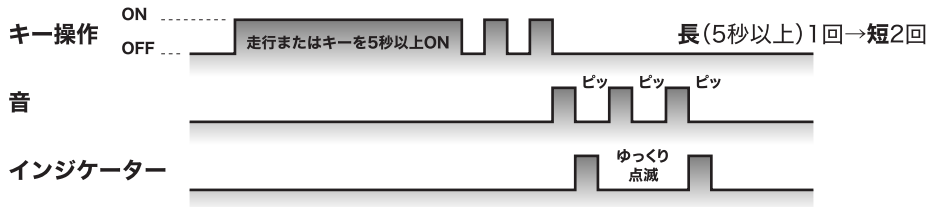
1. チェック用クリップコードをバッテリーのプラス端子からはずします。
2. LEDインジケータのギボシ2本を元のようにCS-330本体に接続し直します。
 ※表面の「配線図」を参照。
3. CS-330本体から出ている(緑)線と、傾斜センサーから出ている(緑)線を接続します。
 ※CS-330に付属のアース線は不要になります。



全ての作業が終わりましたら、表面の説明に従って動作確認を行ってください。
 ※傾斜センサーでの感知は遅延時間の設定に関係なく、傾斜センサー作動後、約1.5秒で警告音が鳴り始めます。

傾斜センサーのみ解除するには

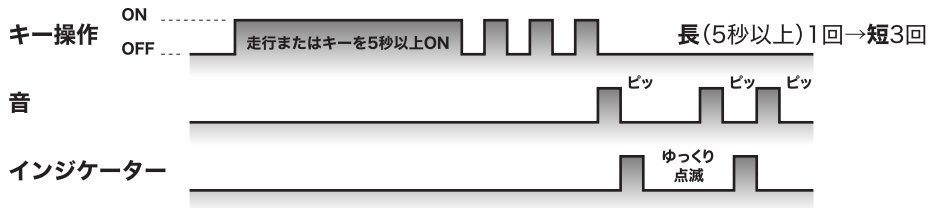
モーションセンサー	傾斜センサー(別売)	モーションセンサーのみ 警報待機状態にします。
待機	×	



ワンポイント 傾斜地など、あらかじめ設定した角度が変わる所へ駐車する場合に有効です。

傾斜センサーのみ設定するには

モーションセンサー	傾斜センサー(別売)	傾斜センサーのみ 警報待機状態にします。
×	待機	



ワンポイント 強風や大雨などによりモーションセンサーが連続感知すると想定される場合に有効です。

※モーションセンサーと傾斜センサーの両方を警報待機にしたい場合は、表面の「警報待機設定」に沿って行ってください。